

平成30年度 3学期終業式 校長式辞

平成の時代が終わろうとしており、あと10日あまりで新しい元号が発表されます。どのような元号になるか、わくわくしています。

平成を振り返ってみると、社会生活を大きく変えたものとして携帯電話・スマートフォンの普及があります。内閣府の2017年の調査によると、その所有率は、小学生で55.5%、中学生が66.7%、高校生が97.1%となっています。生徒諸君にとっても、なくてはならないものですよね。

本校の「ほけんだより：3月号」（ホームページ掲載中）に、生徒諸君の1日のスマートフォンの使用時間が示されてありました。4時間以上使用している人が、23.0%います。51.0%が2時間以上使用しているという調査結果です。学習時間、睡眠時間、家庭での会話の時間が、削られている現状を大変心配しています。

また、最近のニュースで、飲食店のアルバイト店員が、不適切な動画をアップするという、企業経営をおびやかす事件が、数件おこっており社会問題となっています。さらに、裸の画像などが、インターネットを通じて広まる「自画撮り被害」や「いじめをしている動画の流出」など、生徒諸君だけでなく、先生方、保護者の方々、地域社会の方々で、スマートフォンの使用、情報モラルについて、じっくりと考えなければいけない時だと強く思っています。

さて、平成30年度の本校を振り返ってみると、今年度もボランティア活動に積極的に参加し、中部善意銀行から善意賞をいただきました。4年連続8回目の受賞というのは、大変名誉あることだと思っています。また、瀬戸市交通児童遊園や近隣の保育園・福祉施設で、子どもたちや高齢者に笑顔をいっぱい届けることができました。

部活動では、男子バスケットボール部、ソフトテニス部、弓道部、卓球部が県大会に出場、ラグビー部の2人の部員が、U18東海ブロック代表選手に選出され全国優勝、野球部は10年ぶりに1勝をあげることができました。和太鼓部、吹奏楽部、JRC部が、地域のまつりなどに参加し、感謝の言葉をいただきました。

英語検定、漢字検定、家庭科各種技術検定、ICTプロフィシエンシー検定（P検）などの検定にも果敢にチャレンジしました。文部科学省が募集する「トビタテ！ 留学JAPAN 日本代表プログラム」に応募し、参加が決定した生徒もいます。

この一年間の生徒諸君の頑張りに、大きな拍手を送りたいと思います。

来年度に向けて、総合学科である本校生徒が考えるべき問い「自分は何ものであり 何のために何に向かって 何を学ぶべきか」この問いにもう一度、じっくりと向き合い、将来の自分の人生を具体的にイメージし、行動してほしい。昨日の進路ガイダンスで学んだとおり、身だしなみを整え、遅刻・欠席の悪い習慣を正し、学習する習慣を身に付けてほしい。学校行事で協調性を養い、周囲の人とうまくコミュニケーションがとれる術を身に付けてほしい、と思っています。

明日から春休みになります。時間に余裕ができるので、この休みの期間に本を一冊以上読むことを薦めます。そこで、最近、私が読んで面白かった本を紹介します。それは、「星に願いを、そして手を」という本です。著者の青羽 悠（あおば ゆう）が高校1年生、16歳のときに書いた小説であり、彼にとって初めての小説です。科学館を舞台とした男女2人ずつ4人の、中学3年生から10年間の人生を描いたもので、高校での恋愛、友人関係、学校生活でのあれこれ、夢中になれることって何だろうなど、ホロリときたり、考えさせられたりするような内容です。しかも、読みやすい文章となっています。「星に願いを、そして手を」著者：青羽 悠（あおば ゆう）気になった人は、本屋で探してみてください。

それでは、4月9日の平成31年度1学期始業式で新入生を迎え「やる気と笑顔あふれる」生徒諸君に会えることを楽しみにして、平成30年度3学期終業式の式辞とします。